

ぼうち唄を実演する保存会員



相模原の保存会実演

相模原市上溝地区で活動する「ぼうち唄保存会」は11月中旬、同市緑区大島の相模川自然の村公園内にある古民家園で、ぼうち唄実演会を行った。会員14人が参加した。

ぼうち唄とは、同地区に継承される市内では数少ない仕事唄で、同市無形民俗文化財に登録されている。ぼうち唄は、クルリ棒と呼ばれる道具で、麦や大豆、ソバなど

ぼうち唄に合わせ脱穀

を脱穀する共同作業「ぼうち」の際に歌われていた。

実演会では当時の作業風景を再現し、穂をしごく千歯や穂の選別に使う唐箕（とうみ）などの農具も用意。唄に合わせて、クルリ棒で穂をたたき音色が古民家園に心地よく響いていた。

同会の鈴木邦雄会長は「若い人にも興味を持っていただき、ぼうち唄の継承を続けていきたい」と話した。

（相模原）